

地区の特徴：①歴史ある農漁村 ②専門学校や本宮山などの地域資源 ③強い地域結束力 ④急激な人口減少と高齢化 ⑤生活インフラの脆弱化
総合戦略目標：「子どもからお年寄りまで」「安全・安心」「元気に」「楽しく」などをキーワードとした住み続けるためのまちづくりをめざす

早急な対応が求められる課題に対する5つの取り組み

1. 高齢者の困りごと対策として、「助け合いのボランティア組織」の設立

地区の高齢者が抱える高枝切りや買い物代行など日常的な困り事解決の手助けをする「高齢者助け合いボランティア組織（お助け隊）：仮称」を立ち上げることとし、そのための先進事例や助成制度の研究・企画に取り組みます。

2. 専門学校との連携による健康寿命の延伸

地区の貴重な存在である専門学校との有形無形の連携を強化するとともに、エゴマ・黒にんにくなど健康食材の試験栽培・試作加工、および効果測定に取り組み住民の健康寿命の延伸をはかります。

3. 各種行事の見直しによる住民負担の軽減

各種行事等の負担増が高齢化する住民、とりわけ若年層の定住阻害要因とする見方があり、行事の見直しにあたって各々の組織・団体の構成員が十分に話し合っ取り組むよう地区内の住民に呼びかけます。

4. 歴史・観光資源としての本宮山の整備・活用

風光明媚で大野氏の城址でもあった本宮山を整備・活用し住民のアイデンティティ深化と入込者の増加をめざすにあたり、周辺竹木の伐採や案内施設の設置などを計画的にすすめます。

5. SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）による情報発信と交流

SNSを利用して、ふるさと大野を発信しUターン者の、また大野の海山湖を発信し交流人口、さらにIターンの促進対策の第一歩とします。まずは住民向け講習会を開催し、多くの老若男女に情報発信者になっていただきます。

◎引き続き「大野に住み続けるための総合戦略検討・実践組織『大野未来予想図 パートⅡ』」を組成し、大野地区の将来ビジョンを明確にした地域課題の解決に取り組みます。